

SWOT分析の記入事例

S：地区の強いところ

【インフラ】

- ・自宅に井戸がお持ちのお宅が多い。上水道が途絶えた時に助かる
- ・太陽光発電をされている宅が多い
- ・農家さんが多く、米や野菜は豊富
- ・空き家が多い

【人材】

- ・元看護師、元介護士さんを経験された人が多い
- ・元消防、元警察を経験されたOBの人が多い
- ・災害時に協力してくれそうな、民間企業がある。

O：強みを活かす

災害の時に強みを活かす工夫や知ってもらう工夫を記入してください

- ・災害時井戸マップを作って地区で共有する
- ・モバイルバッテリーを利用して、災害時の充電ステーションに協力して頂く
- ・災害時の炊出しの食材提供に協力して頂く方法を探る
- ・持ち主と交渉して、災害時の避難先に貸してもらう。年2回草刈りをしてあげる。

- ・衛生医療チームを組織して避難所を巡回する
- ・救出救護、治安維持チームのリーダーになってもらう
- ・訓練を一緒にする。できれば協定を結ぶ

W：地区の弱いところ

【インフラ】

- ・下水道がほぼ100%導入済み
- ・電化住宅が多い
- ・交通手段は自家用車が多い
- ・地区には自治体管理の公的避難所がない
- ・地区には医療機関がない

【人】

- ・IT（情報技術）に弱い高齢者が多い
- ・ほとんどの住民は地域リスクを知らない（ハザードマップ、災害の記録、災害ヒヤリハット）
- ・避難行動要支援者が多い
- ・災害リスクが違うことから、住んでいる地域により災害意識が違う
- ・新興住宅ができて、古い住民と交流がない。町内会にも入っていない。
- ・非常持出し、備蓄品の備えがほとんどの家庭できていない

T：脅威＝弱点×災害

災害の時に弱みを受容した時の脅威について記入して下さい

- ・トイレが使えない。不衛生。異臭がするので生活できない。
- ・電気製品は全く使えない。不便な上に、不衛生。
- ・停電時には発電機を保有しているSSでしか給油できない。しかも定額給油。
- ・避難できない人が出る。コロナ蔓延拡大防止措置が取れない。
- ・けが人/病人が出た時に手当できない。持病を悪化させる。

- ・災害情報を入手できない。安否確認ができない/時間がかかる。
- ・有効な防災対策に着手できない。
- ・避難行動要支援者が逃げ遅れる確率が高い
- ・災害リスクが同じ（狭い）地域の中で解決策を探さなくてはならない。
- ・防災情報を共有できない。
- ・一時避難先で食べるものがなく不自由な思いをする。民間避難先を追い出される。